

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第 469 回 恐るべきハッカーウェイ・Facebookの実態

2012. 4.22

1月19日に Facebook(以下 FB)に参加して以来、ほぼ3ヶ月、友達が約450人になった。多いのか、少ないのか、その評価すらよく分からないまま、何となく毎日、FB と格闘中である。FB については多くの方がご存知かもしれないが、ちょうど週刊『東洋経済』誌(3/31号)に特集されたので、今回のコラムは、これにした。

現在全世界で、月間利用者数は8億 4,500 万人、中国、インドの人口に次ぐ水準である。日本でもこの 3 月に利用者数 1,000 万人突破と発表され、年内にもミクシィの 1,520 万人を追い越す勢いである。この成長率が続けば、今年中にインド、来年には中国の人口を追い抜くといわれ、インターネット人口 20 億人の半分を上回るのは確実のようだ。つまりネット利用者の 5 割超が FB を使っていることになる。

この世界ではガリバー的存在のFBでも、売上は約2,968億円、さほどびっくりする額ではない。同じネット関連先進企業のアマゾンが3.8兆円、グーグルが3兆円、我国のトヨタが18.9兆円、NTTドコモですら4.2兆円に比べると、雲泥の差がある。しかし圧巻なのは従業員一人当りの売上高(以下 S/ph)。世界的巨大企業3社と比べてみる。たとえばジェネラル・モーターズ(GM)の売上高10兆8,400億円、S/phは5,366万円、同様にマイクロソフト社5兆5,920億円、6,058万円、マクドナルド社は2兆1,600億円、S/phは一桁違う135万円に対しFBのS/phは9,275万円、この水準でいけばほぼ間違いなく従業員一人当たり売上高1億円になるといわれている。

近々に上場が予定され、過激な主幹事社争いに勝ち抜いたのはモルガン・スタンレー、推定時価総額は最大8兆円といわれ、国内企業ではトヨタに次ぐ規模、第2位の三菱UFJFG、3位のNTTドコモを2兆円近く引き離す勢いである。売上は少ないが時価総額は巨額、上場時の時価総額としてネット企業最高額になる見通しである。

FBに参加していないと分かりにくいですが……、

1日に押される「いいね！」ボタンやコメントの数は27億回、1日にアップされる写真は2.5億枚。アクセス数で2010年、FBがグーグルを抜いた。米国における月間合計滞在時間はFBが535億分、これはYahooの3倍、Googleの4倍に当たる。

「1対1のメッセージ機能」はメールの代替、友人の投稿が一覧できるニュースフィードは、ポータルサイトの役割を担っており、FBは、これまでのインターネットのインフラを全て置き換えてしまった。(前記『東洋経済』誌)

SNSシェアの独占を果たしたFBは、次のステップへ歩み始めた。電子商取引への参入、クラウド型の音楽配信、ゲーム配信、スカイプとの連携で電話としての活用、電子メールの代替、端末モバイル市場への参入、そして無限の可能性を秘めた「ビッグデータ」ビジネスへの模索を確実に始めたといえる。

「物事を素早くやってのけ、可能性を広げる」=「ザ・ハッカー・ウェイ」を理念とするFB、文字通りの動きは、今後、見逃す訳にはいかない。